

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 ブリッジコンサルティンググループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9225 URL <http://bridge-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 宮崎 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 伊東 心 TEL 03 (6457) 9105
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績 (2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	459	—	36	—	36	—	24	—
2023年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	12.31	11.37
2023年9月期第1四半期	—	—

(注) 2023年9月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年9月期第1四半期に係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,258	911	72.4
2023年9月期	1,246	886	71.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 911百万円 2023年9月期 886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	20.9	188	21.1	187	23.5	131	27.4	65.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期1Q	2,037,100株	2023年9月期	2,036,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	22,200株	2023年9月期	22,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期1Q	2,014,661株	2023年9月期1Q	—株

(注) 当社は、2023年9月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大も次第に落ち着きを見せ、社会経済活動の正常化が進んでおります。一方で、国際情勢による地政学的リスクに伴うエネルギー価格上昇や、世界的な金融引き締めに伴う影響、生活必需品の値上げなど経済活動の動向は極めて不透明な状況が継続しております。

また、高度化・複雑化が増すビジネス環境下において、企業の経営課題は年々増える一方、企業を支える労働力の面では、少子高齢化という社会問題も相まって働き手が不足している状況です。生産年齢人口は減少する一方で、働き方の多様化が進みプロフェッショナル業務のアウトソーシングが拡大しております。

このような状況の中、当社は「幸せの懸け橋に～1人でも多くの人を幸せに導く～」という創業理念のもと、経営管理ナレッジシェアを軸とした「経営管理コンサルティングサービス」、「プロフェッショナル人材の紹介」等、公認会計士人材の経験・知見をデータベース化・最適配分を通じて、経営管理の課題解決を支援するプロシエリング事業及び付帯関連事業を拡大しております。

当社が運営する公認会計士等のためのワーキングプラットフォーム「会計士.job」では登録者数が2023年12月時点で4,300名を超え、急速に変化する事業環境への対応を背景に成長を志向する企業へのご支援を拡大しております。

各企業ともに慢性的な人材不足の状況であり、上場準備を進めるにあたり管理体制整備のノウハウやリソース不足に陥りやすく、IPO支援、リスクマネジメントサービスを中心に当社の提供する各サービスへの問合せが増加し、支援社数も増加しております。

各サービスへの問合せ対応や将来的な事業拡大のため採用の強化を進めております。ターゲット市場拡大として、上場企業向けのアカウンティングサービス（決算開示等）やリスクマネジメントサービス（J-SOX・内部監査等）などの提供が増加しております。また、日本国内におけるスタートアップ企業の成長とIPOならびにM&A業界のさらなる発展を目的に当社が運営しているBridge IPO/M&A Communityにて、IPO/M&A業界の関係者との連携を強化するため「IPO/M&A業界発展のための情報交換会2023」を開催しました。今後もHPやメールマガジンでの業界に関する情報発信、対面での交流イベントやオンラインによるピッチイベントの開催など、成長を志向する企業の支援を拡大してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高459,513千円、営業利益36,631千円、経常利益36,624千円、四半期純利益24,805千円となりました。

なお、当社はプロシエリング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は1,258,933千円となり、前事業年度末に比べ12,667千円増加いたしました。流動資産につきましては、1,212,117千円（前事業年度末比23,740千円増）となりました。これは主に、当第1四半期累計期間に営業活動により資金を獲得したことにより、現金及び預金が20,570千円増加したことによるものです。固定資産につきましては、46,815千円（同11,073千円減）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は347,563千円となり、前事業年度末に比べ11,897千円減少いたしました。流動負債につきましては、265,943千円（前事業年度末比76,837千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が38,854千円減少したこと及び賞与引当金が35,257千円減少したことによるものです。固定負債につきましては、81,620千円（同64,940千円増）となりました。これは新規に銀行借入れを行い長期借入金が64,940千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は911,369千円となり、前事業年度末に比べ24,565千円増加いたしました。これは主に、当第1四半期累計期間において、四半期純利益を24,805千円計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	980,888	1,001,459
売掛金	186,061	191,256
その他	22,017	19,998
貸倒引当金	△590	△597
流動資産合計	1,188,376	1,212,117
固定資産		
有形固定資産	6,098	6,257
投資その他の資産	51,790	40,557
固定資産合計	57,889	46,815
資産合計	1,246,265	1,258,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,707	70,459
1年内返済予定の長期借入金	22,239	40,239
未払法人税等	41,418	2,564
賞与引当金	57,543	22,285
その他	146,872	130,394
流動負債合計	342,781	265,943
固定負債		
長期借入金	16,680	81,620
固定負債合計	16,680	81,620
負債合計	359,461	347,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	181,473	181,483
資本剰余金	345,963	345,973
利益剰余金	359,589	384,394
自己株式	△222	△222
株主資本合計	886,804	911,630
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△260
評価・換算差額等合計	—	△260
純資産合計	886,804	911,369
負債純資産合計	1,246,265	1,258,933

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	459,513
売上原価	217,951
売上総利益	241,561
販売費及び一般管理費	204,930
営業利益	36,631
営業外収益	
受取利息	0
受取手数料	169
その他	2
営業外収益合計	172
営業外費用	
支払利息	180
営業外費用合計	180
経常利益	36,624
税引前四半期純利益	36,624
法人税、住民税及び事業税	385
法人税等調整額	11,432
法人税等合計	11,818
四半期純利益	24,805

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社が保有する建物は、虎ノ門周辺の再開発地区に含まれており、契約期間終了時に外部へ移転することを想定していたため、従来、契約期間に伴い耐用年数を3年として減価償却を行ってきましたが、当第1四半期会計期間において、再開発の時期が変更になったことにより契約期間の延長を行ったため、耐用年数を6年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,088千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

当社は、プロシエアリング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。